

- 1964年に果実仲卸業として創業、1980年代から中食向け事業を開始 * (株)フルックスはフルックスグループの事業会社
- 西日本～東海エリアの量販店、外食企業を中心に「内食、中食、外食」様々な顧客ニーズに対応するカット野菜を製造
- 実需者からの原料の国産切替えに対応するため、全国の産地と連携し、安定供給に向けた取組を展開
- 歩留りの向上や端材の用途開発にも取り組み、「余すところなく使い切る、売り切る」を最重要テーマにSDGsを推進

株式会社フルックス

- ・事業内容
食品製造業
(カット野菜・ミールキットの加工、
製造、販売及び輸出入)
- ・所在地
奈良県大和郡山市
- ・所有施設
カット野菜工場、低温流通センター
- ・製造量
20 t /日の野菜を加工し、
40,000パック/日を製造、
800アイテム/月



出荷



実需者

A社（量販店）	【大阪府】
B社（量販店）	【滋賀県】
C社（食品製造メーカー）	【大阪府】
D社（惣菜メーカー）	【岐阜県】

等 全国 100 社と取引

↑ 契約栽培
(かんしょ、キャベツ等)

↓ 産地リレー
規格・選果の簡素化

生産・供給

・ E社	(周年)	かんしょ	800 t	【茨城県】
・ JA〇〇	(11月～4月)	キャベツ	60 t	【滋賀県】
・ JA△△	(7月～10月)	キャベツ	160 t	【北海道】
・ F社	(6月～11月)	なす	10 t	【香川県】



フルックスグループの特徴

川上である産地と連携しながら、川中の立ち位置で仲卸事業、生鮮カット事業、ロングライフ事業を展開し、川下となる量販店、外食産業、青果テナントを手掛ける直販事業へと、人と青果物をつなぐ「一気通貫事業」を展開

今後の目標と課題

- ・原料野菜の安定供給体制を構築するため、産地での規格・選果を簡素化し、生産者が生産に注力できる環境を整備
- ・全国の産地と連携し、国産野菜への切替えだけでなく、実需者が求める生産者の顔が見える野菜、彩り、季節感等を差別化するための付加価値にも対応